

## ● 詳細目次 ●

各章の概要については3頁を参照のこと

### 第0章 関係詞を使いこなすべき理由

- 0-1 関係代名詞が使えないと…… ▶ 子供の英語でよいのですか？ …… 12  
[1] 「受験英語」は本当に役立つのか？ 12  
[2] 関係詞が使えないと……ぶつ切りの片言英語＝幼稚に響く 14  
[3] “フィーリング読み”の限界—単語だけ並べれば何とかかなる？ 16  
[4] いまさら、人に聞けない文法用語 18
- 0-2 関係詞の基本概念(1) ▶ 名詞に後ろから「かかる」という発想を捨てる …… 21  
[1] 関係詞とは何か？ 21  
[2] 「名詞と一体化」させてとらえる 22
- 0-3 関係詞の基本概念(2) ▶ 「関係代名詞」、本当の名前は「接続代名詞」？ …… 24  
[1] 関係詞は2文をつなぐ連結器 24  
[2] relative pronounの“rel-”は「連結」 25  
[3] 「完全文」と「不完全文」について再び 26

### 第1章 基本関係詞の使い分け

- 1-1 基本関係代名詞(1) who と whom  
▶ 基本の確認 — 「主格」と「目的格」をどう使うか …… 28  
[1] 主格の who 28  
[2] 単独で使うことのまれな whom 30  
[3] whom を使わなければならない場合 31
- 1-2 基本関係代名詞(2) which ▶ 関係詞の「横綱」whichの基本原則を理解する …… 33  
[1] whichは主格も目的格もOK 33  
[2] thatに置き換えられないwhichの用法 34  
[3] whichの意外な用法：人や形容詞が先行詞になる用法 37  
[4] 関係形容詞のwhich：S V..., 前置詞+ which + 名詞+ S' V' ~ 37
- 1-3 基本関係代名詞(3) that ▶ whoやwhichとの使い分けを理解する …… 39  
[1] 関係代名詞thatの特徴 39  
[2] whoが好まれるケースとthatが好まれるケース 41  
[3] thatとwhichの比較：thatにできないこと 42
- 1-4 who / which / thatの使い分け ▶ ネイティブスピーカーによる実際の使用頻度 …… 43

- 1-5 皆が苦手意識を持つwhoseはこう使う ▶ whoseはなぜわかりにくいのか …… 45  
[1] 「whose + 名詞」で一つと考える 45  
[2] 「意味を知らない単語」の英訳 45  
[3] whoseとof whichの関係 48
- 1-6 関係副詞の特徴 ▶ 先行詞とそれ自体の省略がポイント …… 50  
[1] 関係副詞が省略できるケース 50  
[2] 省略しなければならない関係副詞とは？ 52  
[3] 関係副詞の省略ができない場合 53  
[4] 先行詞自体の省略 54
- 1-7 関係代名詞と関係副詞の使い分け  
▶ わかっているようで実はよくわかっていない、その違い …… 56  
[1] 「場所が先行詞ならwhere」という覚え方の誤解 56  
[2] 関係代名詞か関係副詞かの区別 57
- 1-8 前置詞+関係代名詞を使いこなそう ▶ なぜ前置詞がいるのか？ …… 59  
[1] 日本語に現れないことが多い前置詞の訳語 59  
[2] 前置詞が必要かどうかの見極めは？ 60  
[3] どの前置詞を用いるのか？(前置詞の決め方) 62  
[4] 先行詞で決まるもの：「前置詞+関係代名詞」の慣用パターン 64
- 1-9 関係副詞にもなるthat ▶ さらに広がるthatの世界 …… 68

### 第2章 関係詞、使う？ 使わない？

- 2-1 関係詞を用いないケース(1) ▶ 「省略」ではなく、最初から使わない …… 74  
[1] 目的格の場合：関係詞を使用しないケースが一番多い 74  
[2] 接触節(SVによる後ろからの説明)であることを見抜くには？ 74
- 2-2 関係詞を使わないケース(2) ▶ 前置詞の後ろに何も無い場合は要注意 …… 81
- 2-3 関係詞を使わないケース(3) ▶ 「何が何でも関係詞……」というわけではない …… 86  
[1] 名詞+ Ving 86  
[2] 名詞+過去分詞 87  
[3] 名詞+〈前置詞+名詞〉 89  
[4] 名詞+ to V ... 89
- 2-4 主格の省略が許されるケースとは？  
▶ 非常に限定的なケースではあるが知っておきたい …… 91  
[1] 名詞+ (that) there is / are 91

[2] 関係詞の直後にI thinkなどが入り込むケース 92

[3] 「名詞+SV」となっていないかとも…… 92

## 2-5 関係詞を絶対用いなければいけないケース

▶ ネイティブスピーカーはどこで判断するか …………… 94

[1] 省略できないケース 94

[2] ネイティブスピーカーはなぜ主格の省略をしないのか？ 95

[3] 主格省略と勘違いしてしまうわけ 95

[4] 「過去形」と「過去分詞」を混同してしまう 96

## 第3章 what を使いこなせば表現力が広がる

### 3-1 whatの基本 ▶ 使いこなすための確認事項 …………… 102

[1] whatと他の関係詞との決定的な違い=先行詞を含む 102

[2] 疑問詞「どんな<名詞>か」との区別は？ 104

[3] whatが副詞節になるケース：what is +比較級 105

### 3-2 what：直後に名詞を伴う使い方 ▶ 「名詞」がないと意味がしぼれない …………… 107

[1] 関係形容詞とは？ 107

[2] 関係形容詞の考え方 107

[3] よくある誤解：後ろにthatが必要？ 109

[4] 疑問詞「どんな<名詞>か」との区別は？ 112

### 3-3 「もの・こと」= whatとは限らないケース

▶ somethingとの使い分けは重要 …………… 114

[1] 「…こと」は、whatかthatか？ 114

[2] 後続に空席があっても、whatとは限らない 115

[3] whatは「何でも、すべて」を含意する 117

### 3-4 whatをさらに使いこなす(1) ▶ 強調構文はIt is ... that～だけではない …………… 120

[1] whatを使う強調構文 120

[2] 文頭のWhatに注意！ 121

### 3-5 whatをさらに使いこなす(2) ▶ 日本語に「こと・もの」がない場合 …………… 123

[1] 日本語の名詞表現をwhatでわかりやすく表す 123

[2] whatを用いた、応用の利く定型表現 124

### 3-6 whatをさらに使いこなす(3) ▶ 辞書が冷たい重要表現 …………… 129

### 3-7 whatをさらに使いこなす(4) ▶ what is called = 「説明の道具」という発想 … 133

## 第4章 関係詞の含まれた文を読みこなす

### 4-1 先行詞の元の位置(空席)の確認 ▶ なぜ、その必要があるかというところ …………… 141

[1] have to ... 「…せねばならない」と見えて、実は…… 141

[2] 関係詞によるイディオムのくずれ 142

### 4-2 どこまで関係詞が及ぶか

▶ 切れ目の確認=実用英文を読むさいの必須テクニック …………… 145

[1] 主語を説明する関係詞の場合 145

[2] 名詞が目的語の場合は要注意 146

### 4-3 先行詞は直前の名詞とは限らない ▶ 離れることがよくあり、要注意 …………… 150

[1] 先行詞が離れるケース 150

[2] 離れた先行詞を見抜くには？ 152

[3] some / most of whichのパターン 152

[4] 名詞、名詞+前置詞+which ... 先行詞はどれだ？ 155

### 4-4 関係詞の直後のSVに注意 ▶ 新聞でも会話でも頻出する挿入形 …………… 157

[1] 関係詞直後のSVとは？ 157

[2] この構文であることを見抜くには？ 159

[3] この構文が多用される理由 161

### 4-5 主格でも省略される「名詞SV●V…」の形

▶ 厳密には「ルール違反」でも…… …………… 163

### 4-6 関係詞節が連続する場合 ▶ その必然性を意味から理解する …………… 165

[1] 関係詞の二重限定とは？ 165

[2] 二重限定での関係副詞やthatに注意 166

## 第5章 コンマの有無で情報が変わる

### 5-1 コンマがあるなしでどう違うのか？ ▶ コンマ付きの関係詞についての誤解 170

[1] 息子は何人？ 170

[2] コンマなし(制限用法)：関係詞節がなければ意味不明また不明確 172

### 5-2 ▶ コンマを必ず置かなければならないケース

▶ 特定化すべき名詞と特定化すべきでない名詞 …………… 174

[1] フォークナーは一人じゃなかった？——固有名詞の場合 174

[2] 固有名詞でもコンマがつかない場合は？ 174

[3] 妻が他にも？「所有格+名詞」の場合 175

<b>5-3 非制限用法と『意味の重点』</b>	
▶ オプション情報と重要情報—「情報構造」について	177
[1] コマ付き関係詞(非制限用法)①『オプション情報』	177
[2] コマ付き関係詞(継続用法)②コマ以下が重要情報の場合	177
[3] 『継続用法』と『情報構造』	179

<b>5-5 非制限用法の文を話す・聞かさいの注意点</b>	
▶ 話す・聞かさいは「コマ」がないが	183

## 第6章 実際に使うさいの注意点、その他

<b>6-1 関係詞が説明する名詞に the をつけてしまう</b>	
▶ 日本人に最もありがちな勘違い	188

<b>6-2 「同格の that」の乱発に注意▶「…という～」といえども</b>	191
[1] 関係代名詞 that と同格 that の構造上の違い	191
[2] 「…という」ときたら何にでも使えるとは限らない	192
[3] to V や Ving を用いるべき場合とその使い分け	194

<b>6-3 the way を効果的に使おう▶会話で使い手の多いパターン</b>	196
[1] the way S V ... 「S V する仕方、…ぶり」	196
[2] how との違いは？	196
[3] 「…するように」——接続詞的な the way の使い方	199

<b>6-4 -ever 付きの関係代名詞、関係副詞</b>	
▶ 「何でも」「～しても」の使い方をマスターする	200
[1] -ever 付きの関係代名詞とは何か？	200
[2] -ever 付き関係代名詞の特徴：先行詞を含んでいる	201
[3] whoever と whomever の使い分け	202
[4] 譲歩「結果はどっちみち同じ」という意味を表すケース	203
[5] wherever, whenever, however	203

<b>6-5 whatever が直後に名詞を伴う場合は？</b>	
▶ 「どんな～でも」という場合に広く使える	206

<b>6-6 関係詞もどきの as, but, than▶本来は接続詞だが</b>	210
[1] 関係詞 as の用法	210
[2] which と as の違い	212
[3] 関係代名詞の than：比較級とともに用いる	214
[4] 関係代名詞としての but「…しない」——超文語体	215